

Press Release

2024年3月6日

スポハラ根絶に向けた取り組みへの 特定寄付金を募集します

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPO(正式名称:公益財団 法人日本スポーツ協会 東京都新宿区/会長 遠藤利明)は、この度、スポハラ※根絶に向 けた取り組みへの特定寄付金を募集します。



私たちは、「スポハラ」のないスポーツ界を目指します。

スポハラは、指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者 の誰によっても、また誰に対してであっても起こり得ます。

そのため、JSPO は、スポーツをする・みる・ささえる、スポーツに関わるすべての人に、いかなる理由があっても、「スポハラ」はあってはならないもの、ダメなもの、『NO!スポハラ』という価値観をもてるようになること、「スポハラ」のない社会を目指し、平成 25(2013)年の暴力根絶宣言から 10 年を機に、2023 年から『NO!スポハラ』活動に取り組んでいます。

現在、JSPO では、スポハラが起こった際の「不適切行為への対応(相談・処分)」とスポハラを未然に防ぐ「予防・啓発(イベント情報)」の 2 つの活動を主に行っておりますが、この度、これらにかかる費用にあてることを目的とした特定寄付金(JSPO があらかじめ使途を特定して募集する寄付金)を募集することといたしました。

なお、JSPO は「公益財団法人」の認定を受けておりますので、この寄付金には、特定公益増進法人としての税制上の優遇措置が適用されます。

また、JSPO は褒章条例に関する内規第 2 条に基づく公益団体として認定されているため、 一定額以上寄付された場合、紺綬褒章授与の申請対象となります。

皆様からのあたたかいご支援をお待ちしております。

※『スポハラ(スポーツ・ハラスメント)』

スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など"安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為"のことです

スポハラ根絶に向けた取組への特定寄付金趣意書 概要

1. 寄付金使途

JSPO のスポハラ根絶に向けた取り組み

- ·暴力相談窓口業務運営費
- ·事実調查·不祥事調查業務費
- ·処分審查関係費
- ·調查·事実認定審議関係費
- ·普及関連事業費
- 2. 寄付金募集総額

10,000,000円 ※1口の金額設定なし

3. 寄付金募集期間

令和 6(2024)年 3 月 7 日~令和 7(2025)年 3 月 31 日

4. 寄付金募集対象

個人、企業、団体、機関等を問わず、本趣旨にご賛同いただける方

- 5. 寄付金に対する税制上の優遇措置
 - この寄付金には税制上の優遇措置が適用されます。
- 6. 褒章の申請対象

個人で 500 万円以上、法人で 1,000 万円以上を JSPO に寄付された場合、 紺綬褒章授与の申請対象となります。

※別添資料「スポハラ根絶に向けた取組 寄付金趣意書」参照

◆JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会)について

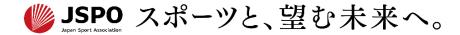
JSPO は、1911 年 7 月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018 年 4 月 1 日、現在の名称となりました。

JSPO では、国民スポーツ大会(旧 国民体育大会)や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や60を超える競技団体、47都道府県スポーツ・体育協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

- ▶ ホームページ https://www.japan-sports.or.jp/
- ▶ 事業概要パンフレット

https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid57.html#09 (通読約15分)

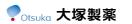
▶ JSPO 中期計画 2023-2027 https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid149.html#01



We support sport in Japan

JSPO OFFICIAL PARTNER









LOTTE

セレスポ



日本文化出版

🔷 図書印刷

時事通信



■ 日本郵政